

但馬の電波中継の拠点「三川山奥」国有林

みかわさんおく

兵庫森林管理署

三川山奥国有林の主峰三川山、標高888mは、但馬地方のほぼ中央部を南北に連なる妙見山、蘇武岳からなる但馬山地の北端の美方郡加美町と豊岡市（旧城崎郡）界に位置し、山頂からは但馬の山々と日本海が望めます。

山頂にはNHKや関西民放各社の電波中継塔が林立し、さらに約1km南に隣接する水山国有林にもNTTや行政機関の無線中継塔があり、但馬地方の電波中継の拠点となっています。



香住港と日本海



山頂のアンテナ群

国有林は全域が氷ノ山後山那岐山国立公園の特別地域に指定されており、標高700m以上には樹高20m以上のブナを主体にした天然林を形成し、低地ではカタクリ、ニリンソウ等の野草やミツバツツジ、シャクナゲなどの植生が見られ、春には新緑と咲き誇るツツジ、シャクナゲを、秋には紅葉の景観を求めて多くの登山者が訪れています。

アクセスは、東側からスキー場である名神鍋高原を経てNHKの管理道路が山頂近くまで延びており、西側の香美町側からは県営の広域基幹林道三川線の開設（昭和47年度着工）が

進んでいて平成20年度に完成する見込みです。

国有林の麓の谷沿いに山陰屈指の三川権現社があります。

三川山縁起鈔によると、この三川権現社は、第四十代天武天皇の時代（西暦674年）に役行者によって開設された古霊場で吉野山、三徳山とともに日本三大蔵王権現の一つに数えられており、5月3日の大祭には全国から山伏行者が集まり、知恵の火で煩惱を焼く「大護摩供養が行われる」とあります。

また、天保3年（西暦1832年）3月には、吹雪が続いた後、一丈（3m）余りの積雪が春の日差しに解けて、山肌、立木をも飲み込む山津波が発生して権現社を押しつぶし、佐津



三川権現社

川沿いの村々を倒壊させ、一気に日本海まで流れ出した大災害が記されています。

三川山奥国有林は、三川山の山頂から三川権現社までの北向きにあり、浜坂森林事務所が管轄しています。

当国有林の面積は約420ヘクタールあり、全山が土砂流出防備保安林と水源かん養保安林に指定されています。

機能類型区分は水土保全林35%、森林と人との共生林65%となっており、林地崩壊等を防備するとともに、約360ヘクタールの天然林は主に風景林に区分し三川権現社の借景を考慮するなど景観保全に努めた施策を実施しています。

前述の広域基幹林道三川線の供用が開始された暁には、周辺の水山国有林、本谷奥国有林、銚子ヶ谷国有林が一本の林道でつながることになり、よりきめ細かな施策の実施が可能となることから開通を心待ちにしています。

1 機能類型・森林を管理する上で重点的に発揮すべき機能に応じて森林を区分したものを

2 施策・森林の取扱い

〒六七一・二五七三

兵庫県赤粟市山崎町今宿一〇〇・一

TEL〇五〇・三一六〇・六一七〇

FAX〇七九〇・六一・四七九〇

<http://www.kinki.kokuyur.in.go.jp/>

hyougo/